

黙示録 12 章 7 節-12 節 スタディーガイド

★ 黙示録 12 章 7 節-9 節

さて、天に戦いが起こって、ミカエルと彼の使いたちは、竜と戦った。それで、竜とその使いたちは応戦したが、勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくなった。こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。

7 節「天に戦いが起こって」

天には、3 箇所あります。地上から見た天と、悪霊たちがいる天もあります。

★ エペソ人への手紙 6 章 12 節

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

天にいるもろもろの悪霊

地上にある天が第一の天なのか、もろもろの悪霊が住んでいる天が第一の天なのか、その順番は知らされていません。しかし、神様のいらっしゃる所は、第三の天です。

★ コリント人への手紙第二 12 章 2 節

私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に……第三の天にまで引き上げられました。

第三の天にまで引き上げられました

パウロが言っている所が、神様のおられる天国です。
戦いが起こっている天は、もろもろの悪霊とサタンが存在する所だと考えられます。

7 節「ミカエルと彼の使いたちは、竜と戦った。」

この戦いで、大天使ミカエルが立ち上がります。

天使の長であるミカエルは、イスラエルを守る天使です。

★ ダニエル書 12 章 1 節

その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。しかし、その時、あなたの民で、あの書にしるされている者はすべて救われる。

その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる

その時とは、黙示録 12 章での戦いの時です。

国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る

エレミヤ書 30 章 7 節で語られている「ヤコブの苦難の時」です。
サタンが、時間が少なくなっているのでイスラエルを抹殺しようとする時です。

その時、あなたの民で、あの書にしるされている者はすべて救われる

イスラエルの民で、神様の命の書に名が記されている者は、すべて救われます。
竜であるサタンともろもろの悪霊たちである墮天使たちは、昔々に神様のいらっしゃる第三の天から追い出されています。
しかし、サタンは聖徒たちを訴えるためだけに、天国に入ることができます。

★ ヨブ記 1 章 6 節－10 節

ある日、神の子らが主の前に来て立ったとき、サタンも来てその中にいた。主はサタンに仰せられた。「おまえはどこから来たのか。」サタンは主に答えて言った。「地を歩き巡り、そこを歩き回って来ました。」主はサタンに仰せられた。「おまえはわたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいないのだが。」サタンは主に答えて言った。「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか。あなたは彼と、その家とそのすべての持ち物との回りに、垣を巡らしたではありませんか。あなたが彼の手のを祝福されたので、彼の家畜は地にふえ広がっています。」

神様が、素晴らしいヨブを御使いたちの前で自慢しています。
サタンは「ヨブが主に仕えているのは、神様が彼を守って祝福しているからであって、祝福を取り上げたら彼は神様を恐れなくなります」と訴えているのです。

それゆえ神様は、ヨブを守っていた垣根を取り外し、ヨブが考えも及ばないほどの苦難の時を与えました。しかしヨブは最後まで神様を呪いませんでした。

大患難時代の間でこのことが起こり、天で戦いが起こります。

黙示録 12 章 7 節と 8 節「それで、竜とその使いたちは応戦したが、勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくなった。」

サタンともろもろの悪霊は、住んでいる天から追い出されます。

9 節「こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。」

彼らが支配していた天から追い出されました。

9 節「彼は地上に投げ落とされ、彼の使いどもも彼とともに投げ落とされた。」

地上に彼らが住む結果になります。

★ 黙示録 12 章 10 節－12 節

そのとき私は、天で大きな声が、こう言うのを聞いた。「今や、私たちの神の救いと力と国と、また、神のキリストの権威が現れた。私たちの兄弟たちの告発者、日夜彼らを私たちの神の御前で訴えている者が投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。それゆえ、天とその中に住む者たち。喜びなさい。しかし、地と海とには、わざわいが来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。」

10 節「今や、私たちの神の救いと力と国と、また、神のキリストの権威が現れた。」

天では勝利の結果を発表しています。

10 節「私たちの兄弟たちの告発者、日夜彼らを私たちの神の御前で訴えている者が投げ落とされたからである。」

サタンはもはや、私たち信者を訴えることができなくなりました。

11 節「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」

私たちの忠実な証しが武器となって、サタンを敗北に導くのです。

12 節「地と海とには、わざわいが来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。」

地に投げ落とされたサタンと墮天使が、大暴れする時が来ました。

サタンは敗北しましたが、ここでご再臨を止めることができる、一つのことが残っています。



マタイの福音書 23 章 39 節

あなたがたに告げます。「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。

ユダヤ人が、ユダヤ人のメシアを迎えるときのみ使うことば「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」と言ってイエス様を民族的にお迎えするまで、ご再臨はないということです。このことを知っているサタンは、あらゆる時代で、ユダヤ人を抹殺しようとして来ました。

時間が少ないことを知って、ユダヤ人を抹殺すれば彼らが主に向かって叫ぶこともできなくなると考えるでしょう。

ユダヤ人は、エルサレムで伝道していた二人の証人によって、イエス様が神様でありメシアであることを聞きました。それは彼らの復活と召天によって明らかにされているのです。

しかしユダヤ人は、自分たちで聖書のみことばを調べて理解するまでは、悔い改めて救われるところにまで達しません。

これは、イスラエルに住んでいる者で生き残ったユダヤ人が、イエス様を民族的にメシアとしてお迎えする直前のことです

12 節「地と海とには、わざわいが来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。」

「ヤコブの苦難の時」が来ることを預言しているのです。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
OMEGA BIBLE STUDY